

## 【ケアマネジャーとはどんな人ですか】

- ★ ケアマネジャーとは、2000年の介護保険制度の導入に伴って定められた資格で、介護保険法においては「介護支援専門員」と言い、介護保険制度において非常に重要な立場にあります。

法律では、以下のように定められています。

「要介護者等からの相談に応じ、及び要介護者等がその心身の状況等に応じ適切な居宅サービス又は施設サービスを利用できるよう市町村、居宅サービス事業を行う者、介護保険施設等との連絡調整等を行う者であって、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門知識及び技術を有するものとして政令で定める者をいう」

【一般的に次のように言われています】

- ① ケアマネジャーは、介護保険制度の中心であり、介護サービスをサポートするプランナー
- ② 介護保険制度の中核を担っているのが、介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ③ ケアマネジャーの仕事を行うためには、介護保険制度をはじめとする保健や医療、福祉の総合的な専門知識と経験が必要

(1) ケアマネジャーは

- ① 「ケアマネジャーは要介護者やその家族に対し、どんなサービスを希望しているのかを理解し、必要なサービスが受けられるように援助することです。」「サービス提供事業者の手配」です。
- ② 「ケアマネジャーは利用者の調査を行って、介護が必要かどうかの判断を下し、介護が必要な場合には介護支援計画を立て、サービスが円滑に行われているかの評価」をします。

(2) 主な仕事は

- ① 要介護認定に関する業務
- ② ケアプランの作成
- ③ ケアプランにおける給付管理

(3) 役割は

要介護と認定された要介護者は、介護サービスを利用する際にケアプランを作成します。

ケアプランは要介護者やその家族が作成することもできますが、ケアマネジャーが専門知識を活かして、要介護者の代わりにケアプランを作成す

ることが多いです。

(4) 流れは

- ① 要介護と認定された要介護者は、介護サービスを利用する際にケアマネジャーと契約を交わします。
- ② アセスメントとは、課題分析です。要介護者の状況やニーズを把握するために、ケアマネジャーは情報収集や分析を行います。
- ③ アセスメントに基づいて、ケアプラン（サービス計画）を作成します。
- ④ ケアマネジャー、要介護者、各サービス事業者が会議（サービス担当者会議）を開いて、サービスの提供、内容確認や情報の交換を行い、適切なサービスが行えるようにします。
- ⑤ 要介護者の同意を得て、介護サービスを実施します。
- ⑥ ケアマネジャーはサービスを受ける要介護者に会って、提供されたサービスが問題なく利用できたか、どんな問題があったかを聞き取り（モニタリング）ます。またサービス提供事業所に対しても、要介護者に適切なサービスを提供できたか、サービスの利用時間に問題はないかを質問して確認作業を行います。
- ⑦ 介護保険の要介護認定には、有効期限があり、期限が切れる1ヶ月前に市町村から認定更新の通知が届けられるので、これを更新する必要があります。（申請は要介護者や家族が行うこともできますが、ケアマネジャーが代行することも可能です。）また、サービス提供中に要介護者の状態が悪くなり介護度が変わった場合は、変更区分の申請を行います。（要介護者や家族が行っても構いませんが、ケアマネジャーが代行することもできます。）
- ⑧ ケアプランが作成されると、ケアマネジャーはサービス利用票・別表を作成し、サービス事業者にサービスの依頼を行います。
- ⑨ 概ねこの流れにより継続されていきます。